

令和5年度 長崎県立長崎図書館郷土資料センター 企画展示2

“原爆乙女” 渡辺千恵子の歩み

― 没後30年を迎えて ―

(長崎総合科学大学長崎平和文化研究所蔵資料より)

展示期間

令和5年7月4日(火)

～ 同年8月20日(日)



<展示での配布資料の一部>

はじめに

県立長崎図書館郷土資料センターは、特に明治以降、長崎県内で作成された郷土資料に特化して、資料収集・保管および提供する施設として活動しています。しかし、郷土資料収集については、当然、当センターの収集活動で完結するものではなく、県内の他機関と連携を図り、資料の所在を周知し、かつその活用促進することも必要な役割だと考えます。

長崎の近現代史を知るうえで、原爆被災に関する資料は欠くことのできない重要な構成要素であり、今回は長崎総合科学大学長崎平和文化研究所に収蔵される渡辺千恵子氏関係資料を同研究所の協力のもとで紹介します。

車いすの被爆者として被爆の実相を伝える活動を担った渡辺千恵子氏に関する資料は、1993年に亡くなったあと、生前交流のあった日比野正己氏が譲り受け、その後、日比野氏がかつて勤務されていた長崎総合科学大学へ寄贈されたものです。今年は、渡辺千恵子氏の没後30年という節目の年に当たります。

令和5年7月4日
長崎県立長崎図書館
郷土資料センター

<長崎県立図書館郷土資料センターアクセスマップ>



〒 850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1番51号

TEL 095-826-5257 FAX 095-826-9285

最寄りのバス停：(長崎県営バス) 桜町公園前、長崎歴史文化博物館

最寄りの電停：(長崎電気軌道) 桜町駅